

平成17年11月29日
川崎市アスベスト対策会議

市立学校（園）におけるアスベスト含有吹付け材の 使用実態調査の最終報告について

本市の教育施設については、昭和62年に『吹付けアスベスト』を対象に、市立学校121校の調査を行い、『吹付けアスベスト』を使用していた37校について、昭和62年度から63年度にかけて『吹付けアスベスト』の除去工事を行いました。

平成9年度には、市有施設において『アスベスト含有吹付けロックウール』等の使用が判明し、平成9年度から平成10年度にかけて市内教育施設について調査したところ、使用していた13校のうち3校からアスベストが検出されたため、除去・囲い込み工法によって対応しました。

このたびの調査は、非飛散性の建材で、アスベスト含有の可能性のある『吹付けひる石』『パーライト吹付け』『発泡ケイ酸ソーダ吹付け』について、平成8年度までに竣工した全ての市立学校及び幼稚園における使用状況を確認し、アスベストの含有の調査を行ってまいりました。今回、その結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- ・調査対象 平成8年度以前に竣工した増改築・改修を含む全ての市立学校及び幼稚園
- ・調査内容 吹付けひる石、パーライト吹付け、発泡ケイ酸ソーダ吹付けの使用状況について、図面及び目視により有無及びその状況の確認を行いました。その中でアスベストを含有している可能性のある吹付け材について、専門機関に委託して試料を採取しアスベストの含有を分析調査しました。

2 調査状況

川崎市立小学校114校、中学校51校、高等学校5校、特殊学校3校及び幼稚園2園の計175校(園)のうち、平成8年度までに竣工した箇所のある学校は167校(園)になります。そのうち135校でそれら吹付け材の使用が判明し、学校の夏休み期間等を利用して試料を採取し分析調査を行ったところ、2校から1%を超えてアスベストを含有する吹付け材が、7校からは1%以下ではあるものの吹付け材にアスベストを含有していることが判明しました。

川崎市立学校(園)	調査対象校(園)	対象吹付け材使用校
175校(園)	167校(園)	135校

アスベストの含有状況		
有		無
1%超	1%以下	126校
2校(1)	7校(2)	

- 1・・・末長小(階段 1.6%)、高津高(倉庫・機械室 10.6%)
- 2・・・新町小(電気室 0.6%)、川崎小(機械室 0.2%)、御幸小(郷土室・算数教室等 0.5%)、新城小(給食室 0.3%)、子母口小(資料室・普通教室等 0.3%)、京町中(電気室 0.3%)、白山中(階段・玄関ホール 0.3%)

3 今後の対応

労働安全衛生法施行令ではアスベスト含有率が1%を超える材料が対象となっております。今回の調査においてアスベストを含有する吹付け材の使用が判明した学校については、非飛散性の建材であることから、直ちにアスベストが飛散するおそれはありませんが、子どもたちの安全対策に万全を期すため、含有率に関係なく除去や封じ込めや囲い込みといった対策を、年度内に講じていきたいと考えております。

(問い合わせ先)
教育委員会総務部教育施設課 飯塚
電話：200-3269
内線：50401